

# 電波のルールを守りましょう!

総務省では6月1日から10日までを「電波利用保護旬間」として電波を正しく利用していたくための周知・啓発活動及び不法無線局の取り締まりを強化しています。

ルールを守らない不法な無線局はテレビ・ラジオ放送、携帯電話などの身近なものから警察・消防・救急用無線などの人命に関わる重要な無線に対して混信・妨害を与えるなど、私たちの生活や安全をおびやかします。

安全で豊かな社会を実現するために、電波のルールを守り、正しく使いましょう。

問い合わせ  
関東総合通信局  
不法無線局による混信・妨害  
☎03・6238・1939  
テレビ・ラジオの受信障害  
☎03・6238・1945  
放送相談(地上デジタル放送)  
☎03・6238・1944

## シリーズ サークル紹介②

### 小川短歌会

上16冊

小川短歌会は昭和47年に旧小川町文化協会発足とともに設立されました。

「小川文化」第1号の記事によると、「10月7日には18人が参加して歌会が開かれた」とあるから、活発な活動であったと想像できます。

この伝統を受け継ぎ、今も定例歌会と文化祭への作詞展示を行っています。会員は15人。

合同歌集「藍」を第5集まで発行し、現在、第6集の発行を計画しています。

また、個人で歌集を出版された方が多く、それらをご紹介します。

「那珂川の四季」小泉喜佐久  
「白炎」他2冊 佐藤和夫、  
「風の素描」他3冊 佐藤孝子、  
「牛の啼く家」佐藤佳久子、  
「土の香」他1冊 石川きん、  
「梅檀」他2冊 塚原タイ、  
「やまとりのこみち」船山カツイ、「善勝川」古沢実 以



那珂川町文化協会が発足し、町の短歌活動をどのような形で発展させたらよいか模索しています。従来の活動とは別に旧小川、旧馬頭の短歌関係者だけでなく、初心者を含めて短歌に関心をもつ方に呼びかけて研修会を発足させました。

NHK学園短歌講座の講師である佐藤孝子先生を中心に、毎月最後の日曜日を研修日としています。

メンバーの1人、上杉里子さんは昨年の県芸術祭で奨励賞に入賞するなど、研修の成果が見え始めました。この研修会の動きが今後の町の短歌活動の方向づけをしてくれるものと期待しています。

関心のある方は、上杉里子(小川支所健康福祉課 ☎96・2115)または滝田孝子(小川 ☎96・2138)まで  
小川短歌会会長 古沢 實

#### 寄贈



ありがとうございます  
ございます

- 福祉基金へ
- 10万円 泉 正夫様(薬利)
  - 10万円 長山宣弘様(久那瀬)
  - 10万円 桑野豊夫様(大内)
  - 5万円 岡 忠一様(盛泉)
  - 5万円 中津原幸子様(松野)
  - 5万円 大森美也子様(馬頭)
  - 5万円 笠井新市様(大那地)
  - 三万円
- アイス工房武茂の郷様  
二万五千四百三十円  
(有)益子建築(株)関東フーズ  
合同ゴルフコンペ様
- 奨学基金へ
- 10万円 泉 正夫様(薬利)
  - 10万円 長山宣弘様(久那瀬)
  - 10万円 益子 勝様
- 教育文化基金へ
- 10万円 泉 正夫様(薬利)
  - 10万円 桑野豊夫様(大内)
- 美術館へ
- 5万円 岡 忠一様(盛泉)
  - 5万円 中津原幸子様(松野)
  - 5万円 大森美也子様(馬頭)
- 図書館へ
- 5万円 岡 忠一様(盛泉)
- 図書、「人生の師」他4冊  
鈴木靖久様(馬頭)
- 社会福祉協議会福祉振興基金へ
- 5万円 岡 忠一様(盛泉)
  - 社会福祉協議会事業へ
  - 20万円 永森停治様(三輪)
- 善意銀行へ
- 八千円 匿名(403回)

ジュニア英会話NO.1

## EGGジュニア

### 馬頭教室

講師 山上明子  
0287-92-3617  
那珂川町馬頭216-5

### 小川リバーサイド教室

講師 関根佐知子  
0287-96-2501  
那珂川町小川619

2008年度新規生大歓迎!

### 広報紙に広告を掲載しませんか?

掲載位置: 各ページの下一段

サイズ: 縦50mm×横88mm

料金: 2色刷 1回 5,000円~  
カラー刷(裏表紙のみ) 1回10,000円~

申込期限: 掲載希望する月の初日の40日前

詳しくは企画財政課広報広聴係(☎0287-92-1114)

までお問い合わせください。

# 広報文芸

## 俳句

春寒し傘寿の母の節くれ手  
この子等が最後過疎地の卒業式  
閉校と決まりし母校巣立ち行く  
摘草の媪の尻の天仰ぐ  
朧夜は愛告げ時の大舞台  
堀跳ぶもかなはぬ齡草を摘む

松野 鶴川 良子  
馬頭 川上 幸男  
久那瀬 星 健彦  
小川 金井 和子  
久那瀬 堀江 直子  
吉田 国安 薫

## 短歌

早春の残雪踏みて山ゆけば黄の系状にマンサクの咲く  
東支那海と太平洋を一望す息深々と多野岳にわれは(沖縄にて)

盛泉 佐藤 茂  
大内 薄井 キイ

老母の部屋明るく照らす山吹の群れ咲く花は微風添えて

馬頭 佐藤 節子

いつ何を蒔きしか忘れぬ鉢にフリージア芽生え花芽持ちたり

小川 佐藤佳久子

遙かなる地に重き職授かりし吾子の運命を憶みはせぬが

小川 古沢 実

石走る野川の水の眩しけれ昭和ひとけた橋渡りつつ

吉田 塚原 タイ

## 川柳

買いだめを横目で見てる空財布  
年金に三日とたたず出て行かれ  
願い事聞く耳持たぬ流れ星  
酸欠の地球で欠伸ばばかり出る  
点滴のしづく命の応援歌

谷田 岡崎 甫子  
大山田下郷 佐藤 有紀  
小砂 笹沼 季子  
小川 平澤 照月  
薬利 大崎 克明



# 新着図書

那珂川町 図書館



『裁判員法廷』 芦辺 拓／著(文藝春秋)  
「裁判員は、医師、主婦、OL、無職男、それ  
にあなた。  
二転三転する評議、そして事件の真相は……」  
綿密な取材にもとづいた、裁判員制度のすべて  
がわかるサスペンス。  
二〇〇九年に施行される「裁判員制度」この小  
説で予習してみたいかがでしょうか。

## 『地球温暖化は止まらない』

S・フレッド・シンガー／著(東洋経済新報社)

「温暖期は寒冷期よりはるかに人類や野生種に  
好都合だった。それなのに、なぜ現代の人類は、  
穏やかな温暖化を恐がるのだろうか。」  
本書では、膨大な研究成果を活用して、温室効  
果理論に対抗する理論を紹介しています。



## 『くまのアンくん』

角野栄子／著(クレヨンハウス)

ゆかいな動物がたくさん暮らしているアイウ  
エ動物園シリーズ。今回はしろくまのアンくん  
が主役です。

「ほくはどうしていつもあるごてるの。」ア  
ンくんは考えこんでいます。  
かわいい動物がいっぱいの絵本は、読み聞かせ  
にもぴったりです。



- ◇『漢字を楽しむ』 阿辻哲次／著(講談社)
- ◇『ビールボーイズ』 竹内真／著(東京創元社)
- ◇『乳と卵』 井上未映子／著(文藝春秋)
- ◇『流星の絆』 東野圭吾／著(講談社)
- ◇『食料植民地ニッポン』 青沼陽一郎／著(小学館)
- ◇『ミクロにひそむ不思議』 甲賀大輔・牛木辰男／著(岩波書店)
- ◇『消えた空き巣犯を追え!』 那須正幹／作(金の星社)
- ◇『フィッシュ』 L・S・マシューズ／作・三辺律子／訳(すずき出版)
- ◇『イラストで学べる裁判員制度』 裁判員制度研究会／著(汐文社)